

## 塩素濃度は、優先基準から総合評価基準に

### 塩素基準の課題

- 塩素基準は、搬入されるペールの品質によって、大きく変動するものである。
- ばらつきのある塩素基準をもって、抜き打ち検査で非優先扱いにするのは妥当でない。
- 塩素を0.4%から0.3%以下にしても、販売単価にはほとんど影響しない。
- 塩素は、利用事業者の成形機の腐食などの影響はあるが、添加剤などで解決が可能である。
- 塩素対策コストを各社かけるだけのメリットが見いだせない。
- ペレットの品質は、塩素より、主成分率、水分率の方が重要である。
- 再商品化製品利用製品側の技術革新により、再商品化製品の品質基準を満足する必要ない場合があるが、一方で現行規準を遵守しなければならずコスト増である。



**塩素濃度0.3%以下の優先基準は撤廃し、総合評価だけで評価すべき。**

5

高度マテリアルリサイクル推進協議会

## 再商品化製品の品質・価格の現状と今後の動向

	現状	今後の動向	
<b>品質</b>	<b>塩素</b>	自治体のペールによりばらつきが大きい	遠心分離機、自動選別機など設備投資をすれば下げることができる。
	<b>主成分</b>	レジ袋の削減により、オレフィン比率が下がってきている。	選別精度向上により、向上が可能。
	<b>水分</b>	ペレタイザーからのペレットは、0.1%以下が標準	技術的には定常的に0.1%以下とすることが可能。
	<b>異物</b>	繊維、アルミ、木などの異物の混入が見られる樹脂が多い	60メッシュ以上のスクリーンチェンジャーやメルトフィルター導入により、異物除去が可能。
	<b>収率</b>	自治体のペール品質によりばらつきが大きく、又、上記品質を上げることで収率は下がる傾向。	自動選別機などの複合利用により収率向上は可能であるが、コスト増となる。
<b>価格</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩素濃度より、異物の混入の有無や主成分により、評価されることが多い。</li> <li>・混合樹脂であれば、10円/kg～30円/kgが相場</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・容リプラの単一樹脂の需要が向上すれば、単価はさらに向上する。</li> <li>・混合樹脂でも異物除去が確実にできれば単価はさらに向上する。</li> </ul>

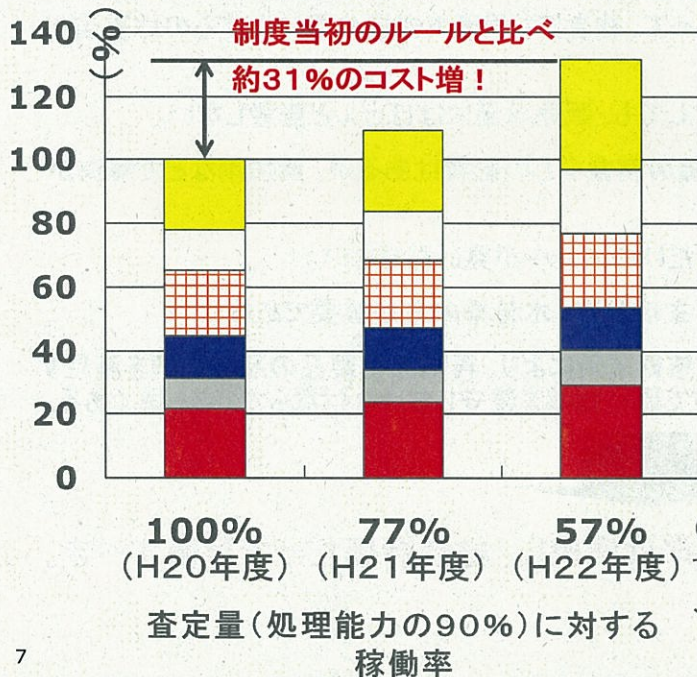
6

高度マテリアルリサイクル推進協議会



## 再生処理事業のベール1tあたりのコスト構造

- ・毎年変化する入札制度で、落札可能量一杯に落札した場合のコスト構造
- ・H20年度を100とした場合、H22年度は、1.31倍のコスト高となる。
- ・稼働率が悪くなるほど、容リベール1t処理あたりの固定費があがる。



- ・総合評価で高い評価の優良事業者に90%の落札可能量を与えるべき
- ・差別化しないと材料リサイクル全体が事業継続が難しくなる。

(注) H22年度は、総合評価制度で最良の評価であるS1を取得し、A枠のみ落札した場合を想定。

7

高度マテリアルリサイクル推進協議会

## 材料リサイクルの高度化とLCAイメージ

## 再生処理プロセス

## 利用プロセス

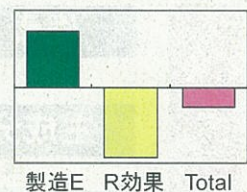
## LCAイメージ

高度マテリアル

容リプロセス ペレット化	+	高精度選別 60メッシュ 多段階洗浄
容リプロセス ペレット化	+	高精度選別 40メッシュ 多段階洗浄
容リプロセス ペレット化	+	60メッシュ 多段階洗浄

単一ペレット (異物なし)
単一ペレット (異物小)
高品質ペレット (異物なし)

<b>高精度な製品</b> 自動車部品、家電部品等
<b>精度が求められる製品</b> 日用品、シート材、プラ袋等
<b>精度、強度が求められる製品</b> 雨水貯留槽、JISパレット等

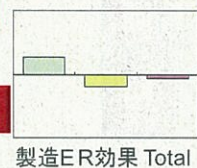
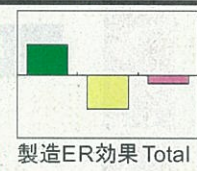


マテリアル

容リプロセス ペレット化	+	40メッシュ
容リプロセス ペレット化		
容リプロセス		

通常ペレット (異物小)
低品質ペレット (異物あり)
グラッシュ (異物あり)

<b>精度、強度が求められない製品</b> プリンター、ワンウェイパレット等
<b>異物が表面に出てる製品</b> 一部のプリンター、パレット等
<b>異物、強度が求められない製品</b> 車止め、擬木、くい等



8 利用が高度な製品になることにより、リサイクル効果が大きくなる。